

2022 年 3 月期 決算説明会主な質疑応答（要旨）

株式会社フェイスネットワーク

Q1. 販売用不動産、仕掛販売用不動産の適正数値はどの程度ですか？

A1. 販売用不動産につきましては、完成と同時に引渡しを行い在庫とならないことが適正と考えております。また、仕掛販売用不動産につきましては、販売のタイミングによって異なりますが、翌期以降の計画も踏まえて 100 億円±30 億円程度が適正であると捉えております。

Q2. 資材価格、原材料費の高騰の影響は？原価抑制の手段をどのような状況ですか？

A2. 建材によって異なりますが、数%から 50%近くの高騰が見込まれております。当社は自社で施工を行っておりますので、資材発注をする上で複数物件の資材を発注することによるボリュームディスカウントで対応しております。今後につきましては、可能な範囲で売価への転嫁を行いつつ、引き続き資材発注のコントロール等により原価抑制をしていきたいと考えております。